

学生の確保の見通し等を記載した書類【目次】

学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況.....	2
1. 学生の確保の見通し.....	2
ア 定員充足の見込み.....	2
① 入学定員の設定の考え方.....	2
② アンケート調査結果.....	2
③ 看護学分野の志願動向.....	2
④ 中長期的な18歳人口の全国的動向、地域的動向.....	3
⑤ 競合校の状況.....	3
⑥ 既設学部の状況.....	3
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要.....	5
① アンケート調査結果に係るデータ.....	5
② 看護学分野の志願動向に係るデータ.....	6
③ 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向に係るデータ.....	7
④ 競合校の状況に係るデータ.....	8
⑤ 既設学部の状況に係るデータ.....	10
ウ 学生納付金の設定の考え方.....	14
2. 学生確保に向けた具体的な取組状況.....	15
(1) 国際看護学部看護学科.....	15
(2) 心理学部臨床心理学科.....	18
人材需要の動向等社会の要請.....	20
1. 人材の養成に関する目的その他教育研究上の目的（概要）.....	20
2. 人材需要の客観的な根拠.....	20
① 我が国における看護職等の需要.....	20
② 千葉県内における看護職等の需要.....	21
③ アンケート調査結果.....	22

学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況

1. 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

① 入学定員の設定の考え方

学校法人医療創生大学は、平成 31（2019）年度に学校法人葵会学園と合併し、学校法人葵会学園が設置していた葵会柏看護専門学校（以下、「本専門学校」という。）を設置校とした。

千葉県柏市において平成 30（2018）年 4 月に設置した葵会柏看護専門学校看護学科（3 年課程）は、入学定員を 80 人と定め、令和 2（2020）年度まで安定して学生を確保していた【資料 1（P.1）：葵会柏看護専門学校看護学科入学志願状況】。

国際看護学部看護学科の入学定員は、「葵会柏看護専門学校の入学志願状況」、「アンケート調査結果」、「看護学分野の志願動向」、「中長期的な 18 歳人口の全国的動向、地域的動向」、「競合校の状況」、「既設学部の状況」等に鑑み、80 人と定めることとした。

② アンケート調査結果

国際看護学部の設置にあたり、定量的データから定員充足の見通しを検証する目的で、株式会社進研アドに依頼し、地元柏市を中心とした千葉県、茨城県および埼玉県の高校 2 年生を対象にアンケート調査を実施した。

調査結果をみると、国際看護学部の入学定員 80 人に対して 168 人（2.10 倍）の入学意向者が得られた。これを 18 歳人口の推移予測に照らし合わせて本学において試算した結果、国際看護学部開設後 10 年間（令和 4（2022）年度から令和 13（2031）年度）は 2.05 倍から 1.90 倍の入学意向者を確保できる見込みである【「イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要、①アンケート調査結果に係るデータ」（P.5-6）にて詳述】。

③ 看護学分野の志願動向

「私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団）」によると、平成 27（2015）年度から平成 31（2019）年度の 5 年間で看護学部の学部数は 78 学部から 101 学部へと増加している。

また、志願倍率は平成 27（2015）年度から平成 31（2019）年度まで常に 6 倍程度の倍率を維持しており、志願者数は平成 27（2015）年度の 44,257 人から平成 31（2019）年度の 56,868 人と 12,611 人増加している。

入学定員充足率は、平成 27（2015）年度から平成 31（2019）年度まで 100%を下回ることがない状況であり、入学者数は、平成 27（2015）年度の 7,738 人から平成 31（2019）年度の 9,604 人と 1,866 人増加している【「イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要、

②看護学分野の志願動向に係るデータ」(P.6)にて詳述】。

④ 中長期的な18歳人口の全国的動向、地域的動向

中央教育審議会将来構想部会(第9期～)(第13回)(平成30年2月21日)の「資料2 大学への進学者数の将来推計について」には、全国の18歳人口は、平成29(2017)年の1,198,290人から令和22(2040)年には881,782人と316,508人減少することが予測されている。

また、千葉県では、平成29(2017)年の55,647人から令和22(2040)年には41,481人と14,166人の減少が予測されている。

一方、大学進学者数等の将来推計において、全国大学進学率(実績・推計値)は、平成29(2017)年の52.6%から令和22(2040)年の57.4%まで上昇すると予測されている。

また、都道府県別男女別大学進学率(実績・推計値)における千葉県の進学率は、平成29(2017)年の53.1%から令和22(2040)年の57.6%まで増加することが推計されている【資料2(P.1-4):中央教育審議会将来構想部会(第9期～)(第13回)(平成30年2月21日)の「資料2 大学への進学者数の将来推計について】】。

⑤ 競合校の状況

本専門学校の入学生実績(平成30(2018)年度から令和2(2020)年度までの3年間)をみると、67%が千葉県の出身者であり、隣接県である茨城県、埼玉県を加えると、91%である。さらに東京都を加えると、98%である【資料3(P.1):葵会柏看護専門学校看護学科都道府県別入学者推移表】。

そのため、千葉県、および隣接県(千葉県北部地域を横断する常磐線沿線)を主たる学生募集の対象エリアと位置づけ、当該地域に所在する看護学を学修することができる大学6校を競合校として位置づけた。

平成27(2015)年度から平成31(2019)年度の5年間の競合校の入学状況をみると、5年間の合計の入学定員充足率が100%を下回っている大学が1校あるものの、その他の5校は高い入学定員充足率であることから、看護学を学修しようとする高校生の需要が高いことがわかる【「イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要、④競合校の状況に係るデータ」(P.8-10)にて詳述】。

⑥ 既設学部の状況

本学では、福島県いわき市に薬学部薬学科(平成19(2007)年4月開設)、看護学部看護学科(平成29(2017)年4月開設)、健康医療科学部作業療法学科、理学療法学科(平成31(2019)年4月開設)、心理学部臨床心理学科(令和2年4月開設予定)を設置している。

薬学部薬学科は、開設以降、学生確保が困難であった時期が続いていたが、高い国家試験

合格率を維持したこと等の実績により、薬学部の教育内容について高い評価が得られるようになった。そのため、一定の入学者が確保できる状況となり、平均入学定員充足率は約89%である。

看護学部看護学科は、依然として社会の需要が高い状況が続いており、入学定員を下回ることなく学生を確保し、平均入学定員充足率は約110%となっている。

健康医療科学部作業療法学科、理学療法学科は、平成30(2018)年度に実施した入学試験(平成31(2019)年度入学対象)の入学定員充足率は、作業療法学科では50%、理学療法学科では100%であった。

作業療法学科においては、当該学問分野への入学を希望する高校生の進路決定時期と本学の情報提供時期が乖離していたこと、および本学が広報を行った高校において、学力試験を敬遠する高校生が多かったことが定員未充足の大きな要因であると考えている。

そのため、高校生が進路を決定する前に情報を提供できるように、早い時期から高校訪問等を実施すること、および一般入試やセンター試験利用入試による志願者が多数存在する高校を新たに訪問の対象として情報提供を行った。

また、高校教員へのヒアリングからは、作業療法士という職業について理解が得られず、敬遠されていたこともわかったため、高校生、保護者、高校教員に対して「作業療法士」の職業理解が得られるよう、本学で行っている地域連携協議会(教育部会)や高校への出前講座(医療系)の中で、情報を提供した。

加えて、早期段階から作業療法士の職業理解を得るため、近隣の中学生を対象に「職業体験会」を実施し、長期的に学生確保ができるよう取り組んでいる。

令和2(2020)年4月に開設した心理学部臨床心理学科の入学定員充足率は57%であった。令和元(2019)年9月に心理学部の設置に伴う収容定員関係の学則変更認可が得られたものの、高校内の推薦入試対象者選出会議が既に終了している状況であり、認可が得られるかどうか不明であるという不安感を持った高校生が認可を待てずに他大学へ進路を変更していたことがわかった。これにより、想定していたより推薦入試対象者が得られなかったこと、および本学心理学部が対象とした令和2(2020)年度入試の受験生は、入試改革を控え、浪人を避ける傾向があり、一般入試やセンター試験利用入試時には、本学を希望する層の受験生があまり残っていない状況であったことが定員未充足の大きな要因であると考えている。

令和3(2021)年度入試は、認可が得られている状況で、早期から心理学部の教育内容等の情報を提供することができるため、定員を充足することができると見込んでいる。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

① アンケート調査結果に係るデータ

国際看護学部を設置にあたり、定量的データから定員充足の見通しを検証する目的で、地元柏市を中心とした千葉県および茨城県、埼玉県の高校 2 年生を対象にアンケート調査を実施した。

アンケート調査の実施概要は、次のとおりである。

【アンケート調査実施概要】

- ア) 実施期間 : 令和 2 (2020) 年 1 月 8 日から令和 2 (2020) 年 1 月 30 日
- イ) 調査方法 : 質問項目を 8 問とし、パンフレットに必要情報を明示した上で、アンケート用紙を配付した。
- ウ) 調査対象 : 本専門学校への志願・入学実績を勘案して、対象高校 33 校を選出
のうえ、当該高校の 2 年生に実施した。
- エ) 有効回答数 : 2,576 人 (回収率 : 49.6%)

※アンケートを実施するにあたり添付したパンフレットは、【資料 4 (P.1-2) : 「グローバル化した社会に対応する看護専門職の養成」医療創生大学】、アンケートの対象とした高校については、【資料 5 (P.1) : アンケート対象高校一覧】、アンケート調査の質問項目および回答選択肢、アンケート調査の結果については、【資料 6 (P.1-17) : 医療創生大学「国際看護学部 (仮称)」設置に関するニーズ調査【高校生対象調査】結果報告書】を参照。

アンケート調査結果をみると、Q4「あなたは、医療創生大学「国際看護学部 (仮称)」(設置構想中)を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近いもの 1 つをお選びください。(1 つだけ)」とする設問で、受験意向調査を行ったところ、「受験したいと思う」が 199 人 (7.7%)、「受験したいと思わない」が 2,234 人 (86.7%)、「無回答」が 143 人 (5.6%)であった。

次に、Q5「あなたは医療創生大学「国際看護学部 (仮称)」(設置構想中)を受験して合格したら、入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近いもの 1 つをお選びください。(1 つだけ)」とする設問において、合格した場合の入学意向調査を行ったところ、「入学したいと思う」が 168 人 (84.4%)、「入学したいと思わない」が 31 人 (15.6%)であった。

この結果により、入学意向者は、入学定員 80 人に対し 168 人 (2.10 倍)となっており、定員充足が可能である。

同調査は、千葉県、茨城県、埼玉県に所在する高校の 2 年生を対象とし、2,576 人から回答を得て、そのうち、入学意向を示した(「入学したいと思う」と回答した者の人数)は 168 人であった。これは、本学の国際看護学部が開設される初年度(令和 3 (2021) 年度)の入学対象人口 146,870 人の 0.114% ($168 \div 146,870 = 0.114\%$)にあたる【資料 7 (P.1-2) : リクルート進学総研「レポート・調査 進学に関するマーケットデータ」(千葉県、茨城県、埼玉県の 18 歳人口・進学率・残留率の推移 2019 年)】、【資料 8 (P.1) : 「国際看護学部」入学

者確保の中長期的な見込み】。令和4（2022）年度以降も、千葉県、茨城県、埼玉県の18歳人口比0.114%が国際看護学部へ強い入学意向を示すとの予測のもとに、各年度の入学意向者を算出した結果、開設後の10年間（令和4（2022）年度から令和13（2031）年度）の状況は、国際看護学部の入学定員80人に対して、2.05倍から1.90倍の入学意向者が確保できると推定できる【資料8（P.1）：「国際看護学部」入学者確保の中長期的な見込み】。

また、実際には、千葉県、茨城県、埼玉県のその他の高校や他県からの入学意向者も見込まれるため、国際看護学部の定員充足は、十分に可能である。

② 看護学分野の志願動向に係るデータ

「私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団）」によると、平成27（2015）年度から平成31（2019）年度の5年間で看護学部の学部数は78学部から101学部へと増加している。看護学部の志願倍率は平成27（2015）年度に6.20倍、平成28（2016）年度に5.99倍、平成29（2017）年度に6.01倍、平成30（2018）年度に6.42倍、平成31（2019）年度に6.09倍と推移しており、常に6倍程度の倍率を維持している。志願者数は、平成27（2015）年度の44,257人と平成31（2019）年度の56,868人を比較すると12,611人増加している。

また、入学定員充足率は、平成27（2015）年度、平成28（2016）年度は108%、平成29（2017）年度、平成30（2018）年度は107%、平成31（2019）年度は103%と100%を下回ることがない。入学者数は、平成27（2015）年度の7,738人と平成31（2019）年度の9,604人を比較すると1,866人増加しており、看護学部へのニーズが非常に高いことを示している【資料9（P.1-10）：私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団）の「主な学部別の志願者・入学者動向】。

【看護学部（私立大学）の入学志願動向】

看護学部 （私立大学）	平成27年度 （2015）	平成28年度 （2016）	平成29年度 （2017）	平成30年度 （2018）	平成31年度 （2019）
学部数	78	81	88	95	101
入学定員	7,142	7,427	8,112	8,819	9,335
志願者数	44,257	44,462	48,763	56,612	56,868
入学者数	7,738	7,997	8,709	9,402	9,604
志願倍率	6.20	5.99	6.01	6.42	6.09
入学定員充足率	108%	108%	107%	107%	103%

（平成27（2015）～平成31（2019）年度私立大学・短期大学等入学志願動向「5.主な学部別の志願者・入学者動向（大学）」（日本私立学校振興・共済事業団）のデータを基に本学作成。）

③ 中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向に係るデータ

中央教育審議会将来構想部会（第 9 期～）（第 13 回）（平成 30 年 2 月 21 日）の「資料 2 大学への進学者数の将来推計について」には、全国の 18 歳人口は平成 29（2017）年の 1,198,290 人から令和 22(2040)年には 881,782 人と 316,508 人の減少が予測されている。

千葉県の 18 歳人口は、平成 29（2017）年の 55,647 人から令和 22（2040）年には 41,481 人と 14,166 人の減少が予測されている。

一方、全国の大学進学率は平成 29（2017）年の 52.6%から令和 22（2040）年には 57.4%と 4.8 ポイント増加が予測されている。

千葉県の大学進学率の推計をみると、平成 29（2017）年の 53.1%から令和 22（2040）年の 57.6%まで 4.5 ポイント増加しており、全国平均より高い大学進学率での推移と予測されている【資料 2 (P.1-4)：中央教育審議会将来構想部会（第 9 期～）（第 13 回）（平成 30 年 2 月 21 日）「資料 2 大学への進学者数の将来推計について」】。

中長期的な 18 歳人口の減少予測から、より一層厳しい学生募集環境に置かれることとなるが、総務省統計局の「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」によると、平成 27（2015）年度から平成 31（2019）年度までの 5 年間に於いて、千葉県の看護師養成所 3 年課程の入学試験応募者数は、平成 27（2015）年度 3,490 人、平成 28（2016）年度 3,061 人、平成 29（2017）年度 2,743 人、平成 30（2018）年度 2,495 人、平成 31（2019）年度 2,533 人と、この 5 年間で 957 人減少しているが、千葉県の看護師養成大学の入学試験応募者数は、平成 27（2015）年度 5,670 人、平成 28（2016）年度 6,751 人、平成 29（2017）年度 7,989 人、平成 30（2018）年度 8,464 人、平成 31（2019）年度 8,774 人と、5 年間で 3,104 人増加している【資料 10 (P.1-10)：総務省統計局「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」（2015 年度～2019 年度）】。

【千葉県の看護師 3 年課程の入学試験状況】

看護師 3 年課程	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)	平成 31 年度 (2019)
学校数	19	19	19	20	19
1 学年定員	980	980	980	1,020	1,020
応募者数	3,490	3,061	2,743	2,495	2,533
入学者数	1,010	1,006	990	1,045	1,009
競争率	3.1	2.8	2.6	2.2	2.3
充足率	103%	103%	101%	103%	99%

【千葉県の看護師養成大学の入学試験状況】

看護師養成大学	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)	平成 31 年度 (2019)
学校数	11	12	15	18	18
1 学年定員	1,085	1,185	1,425	1,745	1,745
応募者数	5,670	6,751	7,989	8,464	8,774
入学者数	1,168	1,255	1,467	1,705	1,815
競争率	4.4	5.2	5.2	4.7	4.6
充足率	108%	106%	103%	98%	104%

(平成 27 (2015)～平成 31 (2019) 年度「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」(総務省統計局) のデータを基に本学作成。)

④ 競合校の状況に係るデータ

令和 2 (2020) 年度における本専門学校入学者の都道府県別出身高校・出身地(社会人)の内訳は、82 人のうち 45 人が千葉県であり、55%を占めている。さらに、隣接県の茨城県、埼玉県および東京都を加えた入学者数は 80 人となり 98%となっている。

平成 30 (2018) 年度から令和 2 (2020) 年度の 3 年間において入学者の都道府県別出身高校・出身地(社会人)の内訳を平均すると 67%が千葉県であり、これに茨城県、埼玉県、東京都を加えると、98%を占める【資料 3 (P.1)：葵会柏看護専門学校都道府県別等入学者推移表】。

本専門学校への入学実績を踏まえ、国際看護学部を設置した場合の通学圏として想定できる千葉県、および隣接県(千葉県北部地域を横断する常磐線沿線)を学生募集の主な対象エリアとし、当該地域に所在する大学 6 校を競合校として位置づけた。

平成 27 (2015) 年度から平成 31 (2019) 年度の 5 年間の他大学の状況をみると、秀明大学(2017 年設置により 3 年間)は、入学定員充足率の平均が 50%となっているものの一定の志願者を得ている。その他の 5 校は、年度によっては、入学定員充足率が 100%を下回っている大学もあるが、過年度の合計でみると、100%を超えている状況である。

【東京医療保健大学 千葉看護学部 看護学科】(単位：人)

	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018) ※	平成 31 年度 (2019)	合計
入学定員	—	—	—	100	100	200
志願者数	—	—	—	774	809	1,583
合格者数	—	—	—	283	303	586
入学者数	—	—	—	107	107	214
志願倍率	—	—	—	7.74	8.09	7.92
入学定員充足率	—	—	—	107%	107%	107%

※千葉看護学部看護学科は、平成 30 年 4 月設置のため、未記載。

【和洋女子大学 看護学部 看護学科】(単位：人)

	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018) ※	平成 31 年度 (2019)	合計
入学定員	—	—	—	100	100	200
志願者数	—	—	—	335	574	909
合格者数	—	—	—	251	262	513
入学者数	—	—	—	114	120	234
志願倍率	—	—	—	3.35	5.74	4.54
入学定員充足率	—	—	—	114%	120%	117%

※看護学部看護学科は、平成 30 年 4 月設置のため、未記載。

【聖徳大学 看護学部 看護学科】(単位：人)

	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)	平成 31 年度 (2019)	合計
入学定員	80	80	80	80	80	400
志願者数	394	312	404	267	340	1,717
合格者数	216	203	184	147	144	894
入学者数	85	63	87	77	93	405
志願倍率	4.93	3.90	5.05	3.34	4.25	4.29
入学定員充足率	106%	79%	109%	96%	116%	101%

【帝京科学大学 医療科学部 看護学科】(単位：人)

	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)	平成 31 年度 (2019)	合計
入学定員	80	80	80	80	80	400
志願者数	721	608	743	720	674	3,466
合格者数	152	146	160	150	135	743
入学者数	92	89	96	85	84	446
志願倍率	9.0	7.60	9.29	9.00	8.43	8.66
入学定員充足率	115%	111%	120%	106%	105%	111%

【国際医療福祉大学 成田看護学部 看護学科】（単位：人）

	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016) ※	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)	平成 31 年度 (2019)	合計
入学定員	—	100	100	100	100	400
志願者数	—	715	940	698	1,027	3,380
合格者数	—	182	189	199	213	783
入学者数	—	108	107	109	112	436
志願倍率	—	7.15	9.40	6.98	10.27	8.45
入学定員充足率	—	108%	107%	109%	112%	109%

※成田看護学部看護学科は、平成 28 年 4 月設置のため、未記載。

【秀明大学 看護学部 看護学科】（単位：人）

	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017) ※	平成 30 年度 (2018)	平成 31 年度 (2019)	合計
入学定員	—	—	80	80	80	240
志願者数	—	—	292	179	221	692
合格者数	—	—	67	60	82	209
入学者数	—	—	37	31	51	119
志願倍率	—	—	3.65	2.24	2.76	2.88
入学定員充足率	—	—	46%	39%	64%	50%

※看護学部看護学科は、平成 29 年 4 月設置のため、未記載。

⑤ 既設学部の状況に係るデータ

(1) 薬学部

既設の薬学部においては、開設時から平成 25（2013）年度まで、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故の風評被害の影響もあり、定員を充足できない状況が続いていた。平成 26（2014）年度以降、高い薬剤師国家試験合格率を継続した実績もあり、薬学部の教育内容について高い評価が得られるようになり、一定の入学者が確保できる状況となってきた。福島県を中心として、北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、茨城県、栃木県、新潟県、群馬県を募集対象エリアとし、広報を行ってきた結果、入学者数は、平成 27（2015）年度 97 人、平成 28（2016）年度 79 人、平成 29（2017）年度 87 人、平成 30（2018）年度 84 人、平成 31（2019）年度 57 人、令和 2（2020）年度 49 人であり、6 年間の入学定員充足率を平均すると 83.9%である。今後も薬学部の指導体制を広報することで安定して学生確保ができると考えている。

【薬学部の入学試験結果】（単位：人）

薬学部	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)	平成 31 年度 (令和元年度) (2019)	令和 2 年度 (2020)
定員	90	90	90	90	90	90
志願者数 (延べ)	258	242	221	207	411	370
志願者数 (実数)	194	183	178	170	140	129
合格者数	232	225	209	202	368	307
入学者数	97	79	87	84	57	49
入学定員 充足率	108%	88%	97%	93%	63%	54%

(2) 看護学部

平成 29 (2017) 年度に開設した看護学部においては、地域で活躍する看護職員を養成する学部であること、および県内の医療機関と連携した実習体制であること等を中心に広報を行っている。具体的には、大学で看護学を学ぶことの意義（専門学校と大学の違い）や、本学看護学部の特色について理解が得られるよう、リーフレット等を作成し、福島県内を中心に説明してきた。

また、福島県、宮城県、茨城県を中心とした地域で実施される医療系の進学相談会において、情報を発信し、看護学部の特長を周知した結果、開設初年度である平成 29 (2017) 年度の入学者は 86 人、平成 30 (2018) 年度 80 人、平成 31 (2019) 年度 100 人、令和 2 (2020) 年度 76 人であった。

【看護学部の入学試験結果】（単位：人）

看護学部	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)	平成 31 年度 (2019)	令和 2 年度 (2020)
定員	80	80	80	80
志願者数 (延べ)	160	162	319	293
志願者数 (実数)	126	128	144	136
合格者数	134	146	256	227
入学者数	86	80	100	76
入学定員充足率	108%	100%	125%	95%

(3) 健康医療科学部

健康医療科学部は、2 学科（作業療法学科、理学療法学科）を擁し、平成 31 (2019) 年 4 月に開設した。

健康医療科学部においては、福島県、宮城県、茨城県を主な募集エリアとして広報を行い、

平成 31 (2019) 年度入学者は作業療法学科 20 人、理学療法学科 60 人であった。

入学者の実績、および高校生の出願傾向を分析した結果、当該学部への入学希望者は進路決定時期が早いことがわかったため、高校生が進路を決定する前に情報が提供できるように早い時期から高校訪問等によって情報を提供した。

また、一般入試やセンター試験利用入試による志願者が多く存在する高校を新たに訪問の対象校として情報提供を行った。

高校訪問の他にも、本学で行っている地域連携協議会（教育部会）や高校への出前講座の中で、高校教員、高校生へ作業療法士、および理学療法士の職業理解を深めるとともに、保護者にも理解が得られるよう資料を作成し、情報提供を行った。

なお、特に作業療法士の職業理解を図るため、近隣の中学生を対象に「職業体験会」を実施し、長期的に学生が確保できるよう取り組んでいる。

平成 30 (2018) 年度に実施したオープンキャンパスでは、施設、設備の整備が未整備、および在学生在が不在の状況であったため、大学での学びのイメージを充分に与えることができなかったものの、平成 31 (2019) 年度は、施設・設備が完成し、教員、および在在学生（作業療法学科・理学療学科 1 期生）による広報を行うことができたため、以前よりも高校生からの理解が得られ、令和 2 (2020) 年度入学者は、作業療法学科 38 人、理学療法学科は 69 人となり、昨年度に比べ増加した。

【健康医療科学部作業療法学科の入学試験結果】（単位：人）

健康医療科学部 作業療法学科	平成 31 年度 (2019)	令和 2 年度 (2020)
定員	40	40
志願者数 (延べ)	50	93
志願者数 (実数)	25	42
合格者数	48	84
入学者数	20	38
入学定員充足率	50%	95%

【健康医療科学部理学療法学科の入学試験結果】（単位：人）

健康医療科学部 理学療法学科	平成 31 年度 (2019)	令和 2 年度 (2020)
定員	60	60
志願者数 (延べ)	131	208
志願者数 (実数)	76	114
合格者数	129	95
入学者数	60	69
入学定員充足率	100%	115%

(4) 心理学部

令和2(2020)年4月に開設した心理学部臨床心理学科は、入学者は34人(入学定員充足率57%)であった。心理学部の広報の募集対象エリアは、福島県、東北地方の各県、茨城県とし、心の健康に対する社会的な需要の高さや本学心理学部の教育内容や特長等について情報を提供してきたが、想定していた入学者数を得ることはできなかった。

令和元(2019)年9月に心理学部の設置に伴う収容定員に係る学則変更認可が得られたものの、心理学部が募集の対象としていた高校では、私立大学への学校推薦型選抜入試対象者の選出会議が既に終了している状況であった。当初、本学心理学部への入学を希望していたものの、認可が得られるかどうか不明であるという不安感を持った高校生が、認可を待たずに他大学へ進路を決定していた事例が多かったため、本学が学校推薦型入試において想定していた入学者数とならなかった。

また、令和2(2020)年度入試において本学心理学部が対象としていた受験生は、令和3(2021)年度に予定されていた入試改革を控え、浪人を避ける傾向があり、一般入試やセンター試験利用入試よりも、学校推薦型選抜入試、総合型選抜入試等の入試種別を選択して進路を決定する傾向が高く、一般入試、センター試験入試の実施時期には、本学を希望する受験生があまり残っていない状況であった。

【心理学部臨床心理学科の入学試験結果】(単位：人)

心理学部 臨床心理学科	令和2年度 (2020)
定員	60
志願者数(延べ)	96
志願者数(実数)	53
合格者数	93
入学者数	34
入学定員充足率	57%

ウ 学生納付金の設定の考え方

国際看護学部の子生納付金の設定にあたり、入学金については、入学事務手続きに要する各種経費を検証し、授業料については、教育サービスに関わる経費および施設維持に必要な経費等を検証のうえ、近隣大学の状況も参考にしながら、それぞれ適切な金額を設定することとした。

(単位：千円)

学年	1年次	2年次	3年次	4年次
入 学 金	300	—	—	—
授 業 料※	1,500	1,500	1,500	1,500
合 計	1,800	1,500	1,500	1,500

※ 授業料には、「施設拡充費」を含む。

学生納付金の設定にあたり、千葉県、および隣接県にある私立大学の看護学系の学部を設置する大学と比較検討した。

入学金については、大学ごとに異なるものの、下記6校の平均は283.3千円となっている。また、授業料の平均額は1,565.2千円であり、入学金および授業料合計の平均は1,848.5千円であった。

本学の看護学部の入学金は平均額と比較すると若干上回っているが、授業料は平均額より下回っていること、定員規模、および経営的な観点から、学納金収入と支出見込みを踏まえ、上記の入学金、授業料とすることとした。

なお、国際看護学部では海外における「国際看護実習Ⅱ」を選択実習科目として設置している。当該科目を履修する場合は、渡航、滞在費等に要する実費額(15～50万円)を別途徴収する。

(単位：千円)

所在地	大学	学部	学科	入学金	授業料※	合計
千葉県	東京医療保健大学	医療保健学部	看護学科	300	1,550	1,850
千葉県	和洋女子大学	看護学部	看護学科	250	1,607	1,857
千葉県	聖徳大学	看護学部	看護学科	300	1,904	2,204
東京都	帝京科学大学	医療科学部	看護学科	250	1,630	1,880
千葉県	国際医療福祉大学	成田看護学部	看護学科	300	1,250	1,550
千葉県	秀明大学	看護学部	看護学科	300	1,450	1,750
平均	—	—	—	283.3	1,565.2	1,848.5

表は、日本私立大学団体連合会が作成する「学生納付金等調査(平成31年度入学生)」、および当該大学のHP等より作成。

※「授業料」には、「施設設備費」、「実験・実習・体育費」、「教育充実費特別納付金」等を含めている。

2. 学生確保に向けた具体的な取組状況

(1) 国際看護学部看護学科

本専門学校の入学実績（平成 30（2018）年度から令和 2（2020）年度までの入学者）をみると、67%が千葉県出身者である。これに茨城県、埼玉県を加えると 91%を占める。さらに東京都を加えると、98%である【資料 3（P.1）：**葵会柏看護専門学校看護学科都道府県別等入学者推移表**】。

そのため、千葉県を中心に隣接する 1 都 2 県、および近県である栃木県を加えた地域を主な募集エリアとして、以下の学生確保に向けた取組を行う。

なお、学部名称に「国際」と冠し、「国際」の素養を持った看護教育を行うことについて、多文化共生社会となっていく社会構造の変化に対応するため、国際看護学部の人材養成像である「グローバルな視点をもった社会に有為な保健医療人材の養成」を目指していることから、教育課程上に「国際看護学」という科目区分を設定していること等、国際看護学部の特色を周知し、十分な内容理解を図る。

1) 大学説明会・オープンキャンパス

本学主催の大学説明会では、高校の進路担当教員に対して国際看護学部の設置の経緯、学部説明、施設見学等を予定している。また、直接、高校教員と情報交換する場としても活用する予定である。

高校生を主な対象とするオープンキャンパスでは、実施時期や対象学年に応じたプログラムを提供し、学部説明や模擬講義に留まらず、学内の実習施設や設備を幅広く活用したうえで、進学後の学習内容・具体的なイメージ、大学卒業後の将来像を意識できるように企画する。

なお、各企画の実施期日は、近隣の高校の年間スケジュールを基に、近隣大学の開催期日を調査したうえで、高校生が参加できるように設定する。

大学説明会、オープンキャンパスの告知は、大学ホームページにおける特設サイトの設置、高校生の利用頻度が高いと考えられる Twitter などの SNS、高校訪問による案内、資料請求者へのダイレクトメールを送付すること等により実施する。

本専門学校の入学実績を踏まえて試算すると、大学説明会・オープンキャンパスで 724 人の参加者数が得られれば、入学定員を充足できるだけの入学者が得られる。そのため、国際看護学部の動員数は、724 人以上を目標とする。

【オープンキャンパス参加者推移数】（単位：人）

	平成 29 年度 (2017) ※	平成 30 年度 (2018) ※	平成 31 年度 (2019) ※	令和 2 年度 (2020) (目標)
参加者数	511	578	654	724

※平成 31（2019）年度までは葵会柏看護専門学校としての実績値を記載している。

2) 高校訪問

本専門学校では、広報担当の職員が教育内容の周知と進学希望者への情報提供を目的として、千葉県、埼玉県、茨城県、東京都、福島県浜通りの高校を訪問し、進路担当教員や学年担当教員、担任教員へ情報提供を行ってきた。

高校生が進路を決定する際、大きな情報源となるのが学年担当教員や進路担当教員でもあることから、定期的に情報提供を行い、高校との連携を密にして入学志願者の確保に努める。

なお、平成 31 (2019) 年度までは、医療系専門学校への希望者が存在すると予測した高校や進路多様校をメインとして訪問対象としていたが、国際看護学部を設置に伴い、新たに 4 年制大学の進学率の高い高校への訪問を増やし、情報提供を行うこととする。

【訪問高校数】(単位：校)

	平成 29 年度 (2017) ※	平成 30 年度 (2018) ※	平成 31 年度 (2019) ※	令和 2 年度 (2020) (目標)
高校数	396	396	398	417

※平成 31 (2019) 年度までは葵会柏看護専門学校としての実績値を記載している。

3) 進学相談会、進学説明会 (高校内ガイダンス)

年間を通して、業者が主催する進学相談会 (千葉県、埼玉県、茨城県が中心) へ参加し、本学部への興味・関心の高い高校生と接触し、広報する。

また、高校内で実施される進学説明会 (高校内ガイダンス) においては、低学年を対象とした企画へも参加し、早期から本学への認知を図り、学生の確保に向けた取組を実施する。

国際看護学部を設置に伴い、平成 31 (2019) 年度の専門学校での参加エリアを継承しつつ、新たに近県である栃木県の進学相談会なども含めて、参加回数を増やすことで、看護分野に興味・関心の高い高校生と接触する機会を増やし、養成する人材像、学部の特色等を周知し、入学志願者の確保を図る。

なお、本学が参加する進学相談会や進学説明会 (高校内ガイダンス) の実施情報は、ホームページや SNS を通じて情報を発信し、高校生の参加を促す予定である。

【進学相談会における接触者数】(単位：人)

	平成 29 年度 (2017) ※	平成 30 年度 (2018) ※	平成 31 年度 (2019) ※	令和 2 年度 (2020) (目標)
接触者数	27	174	94	200

※平成 31 (2019) 年度までは葵会柏看護専門学校としての実績値を記載している。

【進学相談会参加数】（単位：参加会場数）

	平成 29 年度 (2017) ※	平成 30 年度 (2018) ※	平成 31 年度 (2019) ※	令和 2 年度 (2020) (目標)
参加会場数	4	28	22	40

※平成 31（2019）年度までは葵会柏看護専門学校としての実績値を記載している。

【進学説明会（高校内ガイダンス）への参加数】（単位：本学参加数）

	平成 29 年度 (2017) ※	平成 30 年度 (2018) ※	平成 31 年度 (2019) ※	令和 2 年度 (2020) (目標)
参加数	29	82	46	80

※平成 31（2019）年度までは葵会柏看護専門学校としての実績値を記載している。

4）広報媒体（ホームページ・SNS、進学情報 WEB サイト、受験雑誌の活用）

高校生が本学の情報を得られるように、広報媒体として本学ホームページ・SNS の他、業者を介した進学情報 WEB サイト、受験雑誌を積極的に活用した広報を行い、資料請求者数を増やす。

ホームページ・SNS では、入試情報をはじめ、各種イベントやニュースを発信し、受験生がリアルタイムで情報を得られるようにするとともに、進学情報 WEB サイト等を活用し、教育内容などの周知を図る。

【資料請求者数】（単位：人）

	平成 29 年度 (2017) ※	平成 30 年度 (2018) ※	平成 31 年度 (2019) ※	令和 2 年度 (2020) (目標)
請求者数	386	1,221	1,472	2,000

※平成 31（2019）年度までは葵会柏看護専門学校としての実績値を記載している。

【本学受験者が活用した媒体別資料請求者数】（単位：人）

媒体	平成 29 年度 (2017) ※	平成 30 年度 (2018) ※	平成 31 年度 (2019) ※
HP・SNS	120	91	145
各種進学情報 WEB サイト	6	27	39
合計	126	118	184

※平成 31（2019）年度まで葵会柏看護専門学校としての実績値を記載している。

(2) 心理学部臨床心理学科

令和 2 (2020) 年 4 月に開設した心理学部臨床心理学科は、入学定員 60 人に対して 96 人の志願者、34 人の入学者となり、入学定員充足率は 57%であった。

志願者の出身高校をみると、96 人のうち、68 人 (71%) は福島県出身者であり、次いで茨城県 10 人、北海道 5 人、宮城県 4 人、秋田県 2 人、山形県 2 人、その他の都道府県 5 人であった。

入学者の出身高校をみると、34 人のうち、福島県出身者は 21 人 (61.8%) であり、次いで、茨城県 4 人、宮城県、秋田県、山形県がそれぞれ 2 人、その他 3 人であった【資料 11 (P.1) : 心理学部入学志願状況】。

入試種別に入学者をみると、34 人中、24 人 (71%) が総合型選抜入試、学校推薦型選抜入試であった【資料 12 (P.1) : 令和 2 (2020) 年度医療創生大学心理学部入学試験結果】。

入学定員未充足の要因を追究するため、心理学部の設置前に実施した入学意向調査で協力が得られていた複数の高校へヒアリングした結果、次のことがわかった。

まず、令和元 (2019) 年 9 月に心理学部の設置に伴う収容定員に係る学則変更認可が得られたものの、本学心理学部が対象としていた高校では、私立大学への推薦入試対象者選出会議が 8 月までに終了した状況であった。当初、本学心理学部への入学を希望していたものの、認可が得られるかどうか不明であるという不安感を持った高校生が認可を待てずに大学へ進路を決定していた事例が多く、推薦入試において想定していた入学者を得ることができないことに繋がった。

次に、令和 2 (2020) 年度入試において本学心理学部が対象としていた受験生は、令和 3 (2021) 年度に予定されていた入試改革を控え、浪人を避ける傾向があった。そのため、一般入試やセンター試験利用入試よりも、学校推薦型選抜入試、総合型選抜入試等の入試種別を選択して進路を決定する傾向が高く、一般入試、センター試験入試の実施時期には、本学を希望する層の受験生があまり残っていない状況であった。

【心理学部臨床心理学科の入学試験結果】(単位：人)

心理学部 臨床心理学科	令和 2 年度 (2020)
定員	60
志願者数 (延べ)	96
志願者数 (実数)	53
合格者数	93
入学者数	34
入学定員充足率	57%

以上のことを踏まえて、令和3（2021）年度入試以降、入学者を確保するために以下の取組を行う。

1) オープンキャンパス

心理学部において、平成31（2019）年度に実施したオープンキャンパスでは68人の参加者が得られ、入学者数は34人であった。入学定員60人を充足するため、令和2（2020）年度に実施するオープンキャンパスの参加者目標数は、120人とする。なお、早期からの高校訪問、大学ホームページ、SNS、ダイレクトメールにより告知を行う。

【心理学部オープンキャンパス参加者数】（単位：人）

	平成31年度 (令和元年度) (2019)	令和2年度 (2020) (目標)
参加者数	68	120

2) 高校訪問

認可が得られた状況で早期から高校訪問を実施し、高校生が進路を決定する前に情報を提供する。

なお、一般入試や大学入学共通テスト利用入試による志願者が多く存在する高校を新たに追加し訪問の対象とする。

【新規訪問高校数】（単位：校）

都道府県	平成31年度 (令和元年度) 新規訪問高校数	令和2年度 (2020) (目標)
秋田県	35	40
山形県	35	40
計	70	80

3) 地域連携協議会（教育部会）

高校教員へ心理学部が開設されたこと、および公認心理師や臨床心理士の職業理解を目的として、1年に1回実施する予定である。

4) 出前講座

高校生、保護者の公認心理師、臨床心理士の職業理解を目的として、1年に複数回実施する。

人材需要の動向等社会の要請

1. 人材の養成に関する目的その他教育研究上の目的（概要）

国際看護学部では、本学の教育理念・目的である「科学的根拠（サイエンス）に基づいた術（アート）を備えた慈愛（ハート）のある医療人の創生」を踏まえ、多文化共生社会となっていく社会構造の変化に対応するため、「グローバルな視点をもった社会に有為な保健医療人材の養成」を目指している。

グローバル化した社会においては、出身国が異なる人々に対し、その人の生まれ育った歴史を含めた全人的な存在そのものを受け入れながら、より質の高い看護ケアを提供することが求められる。そのためには、世界標準言語である英語を駆使して看護ケアを実施できることはもとより、異文化理解を含む、広い視野を持ち、慣習の違いを超えた人間的な関わりとコミュニケーション技術、さらには高度な情報処理能力に基づく科学的な考え方と研究する力を持った看護専門職が要求される。国際看護学部では、このような看護の新しい役割を担えるような人材を育成する。

2. 人材需要の客観的な根拠

① 我が国における看護職等の需要

我が国では、急速な少子高齢化の進展と、それに伴う生産年齢人口の減少、社会保障に係る国および地方公共団体の財政負担の増大に対応するため、社会保障改革の全体像や必要な財源を確保することを目的とした各種検討が進められてきた。

平成 24 年 8 月 22 日には、社会保障改革を総合的かつ集中的に推進する目的から、「社会保障制度改革推進法」が成立した。本法律に基づき、社会保障制度改革国民会議が設置され、社会保障制度改革に関する検討が行われてきたが、平成 25 年 8 月 6 日の報告書には、「特に、看護職員については、養成拡大や潜在看護職員の活用を図るために、看護大学の定員拡大及び大卒社会人経験者等を対象とした新たな養成制度の創設、看護師資格保持者の登録義務化等を推進していく必要がある。」と言及されている【資料 13 (P.1-2)：社会保障制度改革国民会議報告書～確かな社会保障を将来世代に伝えるための道筋～（平成 25 年 8 月 6 日）】。

また、厚生労働省では、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」（平成 4 年法律第 86 号）に基づく「看護婦等の確保を促進するための措置に関する基本的指針」に従い、今後の高齢社会における保健医療を担う看護師等の確保を図るための施策を展開している。現在、「第七次看護職員需給見通し（平成 23 年～平成 27 年）」を受け、「看護職員受給見通しに関する検討会」において、平成 28 年以降の看護職員需給見通しが、長期的な見通しを含めて検討されている。同検討会の資料によると、「社会保障・税一体改革の試算では、平成 37 年に看護職員が約 196 万人～約 206 万人必要とされており、今後、仮に 3 万人／年のペースで増加しても、約 3 万人～13 万人分のギャップが生じるとされている。この試算も念頭

に置いて、国において、看護職員の復職支援や離職防止・定着促進等のための看護職員確保対策を引き続き行っていく」【資料 14 (P.1-2)：第 2 回看護職員需給見通しに関する検討会 (平成 27 年 12 月 18 日) 資料 1】とされており、看護職員の確保が急務とされている。

さらに、「医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会 中間とりまとめ」によると、令和 7 (2025) 年における看護職員の需要推計は約 180 万人～200 万人と見込まれているのに対し、供給は約 174 万人～182 万人と少なくとも 6 万人、最大では 20 万人の供給不足が見込まれている【資料 15 (P.1-2)：医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会 中間とりまとめ (令和元年 11 月 15 日)】。高齢化の進行に伴う医療需要の増加や、近年大規模化が見られる天災の発生とその後の医療需要、さらには新興感染症の発生に伴う医療提供問題など、看護職員の確保は避けては通れない問題である。

② 千葉県内における看護職等の需要

平成 30 (2018) 年 4 月、千葉県によって策定された「千葉県保健医療計画」は、千葉県における保健医療分野の基本指針となるものである。

同計画において、「人口の急速な少子高齢化や医療技術の進歩、県民の意識の変化など、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。特に本県では、高齢者人口の急増が見込まれており、疾病構造は大きく変化し、医療需要の増加も見込まれています。発症予防の推進とともに、救急医療、在宅医療、がんや認知症対策など、超高齢社会に対応した保健医療提供体制の充実が緊急の課題です。」【資料 16 (P.1-2)：千葉県保健医療計画 平成 30 年 4 月】とされている。

また、同計画における就業看護職員数 55,759 人 (平成 28 (2016) 年末現在) の内、看護師数 41,999 人で、「人口 10 万人当たりでは (中略) 看護師は 673.5 人で全国第 46 位 (全国平均 905.5 人)」と低い状況が指摘され、「今後、高齢化の一層の進展や高齢者人口の大幅な増加により、医師同様、看護職員の不足感はますます高まることが予想されます。」と述べている【資料 16 (P.3)：千葉県保健医療計画 平成 30 年 4 月】。

さらに、「医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会 中間とりまとめ」によると、令和 7 (2025) 年における千葉県の看護職員の需要推計は約 7.8 万人～8.4 万人と推計されているのに対し、供給は約 7 万人と需要推計を満たしきれてはいないことから千葉県内の看護師需要については、喫緊の問題として看護師職員の養成・確保に取り組む必要がある【資料 15 (P.3)：医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会 中間とりまとめ (令和元年 11 月 15 日)】。

千葉県の人口 10 万人当たりの病院数は全国平均の 68.6%、病床数は 76.8%と全国平均を下回っている。東葛北部における人口 10 万人当たりの病院数は全国平均の 62.4%、病床数は 71.2%と県平均よりもさらに低い状況であり、病院数や病床数の整備が望まれる医療圏である【資料 16 (P.4)：千葉県保健医療計画 平成 30 年 4 月】。また、同計画では「今後も、地域保健医療連携・地域医療構想調整会議等を通じた医療連携の促進や、わかりやすい

広報による県民理解の促進、地域の実情に応じた入退院支援の仕組みづくりへの取組を進めます。」とあり、病院だけにとどまらず、地域で完結できる医療体制の整備が構想されている。さらに、「例えば、患者、利用者の生活の視点に立って、入退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り等の場面に応じて切れ目ない医療・介護を提供するための多職種連携の促進や、利便性の向上のため、ICT活用等について地域の実情に応じた支援を検討します。」【資料 16 (P.5)：千葉県保健医療計画 平成 30 年 4 月】とあり、住み慣れた地域で医療を受けられる環境はもとより、ICTを利用して活動できる看護職員が求められている。このような地域での医療における多職種連携や ICT を使って様々な場面で活躍できる看護職員の育成は国際看護学部を目指すところである。

以上のことから、東葛北部のみならず千葉県の保健医療にも寄与できる人材養成の課題に向かっていくため、国際看護学部の設置は千葉県内の社会的情勢や保健医療圏の方向性を踏まえたものと言える。

③ アンケート調査結果

国際看護学部の入学定員を 80 人と設定するにあたり、社会的、地域的な人材需要の動向を定量的データにより検証する目的から、株式会社進研アドに依頼し、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県内の関係機関（病院、診療所・クリニック、福祉・介護施設、訪問看護ステーション、一般企業等）に対し、アンケート調査を実施した。

アンケート調査の実施概要は、次のとおりである。

【アンケート調査実施概要】

- ア) 実施期間 : 令和 2 (2020) 年 1 月 8 日から令和 2 (2020) 年 1 月 30 日
- イ) 調査方法 : 質問項目を 11 問とし、対象関係機関にアンケート用紙を配付した。
- ウ) 調査対象 : 茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県にある関係機関 500 機関を任意に抽出し、対象とした。
- エ) 有効回答数 : 131 件 (回収率 : 26.2%)

※アンケートを実施するにあたり添付したパンフレットは、【資料 4 (P.1-2)：「グローバル化した社会に対応する看護専門職の養成」医療創生大学】、アンケートの対象とした機関については、【資料 17 (P.1-5)：アンケート対象機関一覧】、アンケート調査の質問項目および回答選択肢、アンケート調査の結果については、【資料 18 (P.1-16)：医療創生大学「国際看護学部（仮称）」設置に関するニーズ調査【病院・団体対象調査】結果報告書】を参照。

アンケート調査結果において、Q9「貴院・貴団体（ご回答者）は医療創生大学「国際看護学部（仮称）」（設置構想中）はこれからの社会にとって必要だと思われませんか。（あてはまる番号 1 つに○）」とする設問で、社会的必要性に関する調査を行ったところ、「必要だと思う」

が 127 件 (96.9%)、「必要だと思わない」が 1 件 (0.8%)、「無回答」が 3 件 (2.3%) であった。

次に、Q10「貴院・貴団体では、医療創生大学「国際看護学部（仮称）」（設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。（あてはまる番号 1 つに○）」とする設問で、採用意向調査を行ったところ、「採用したいと思う」が 119 件 (90.8%)、「採用したいと思わない」が 8 件 (6.1%)、無回答が 4 件 (3.1%) であった。

また、採用者の想定数値を調査するために、Q11「Q 10 で「1.採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのご回答者ご自身のお考えに最も近いものをご回答ください。（あてはまる番号 1 つに○）」と設問し、集計した結果、毎年 378 人の採用が見込まれ、最低でも 1 学年の定員を大幅に超えるニーズがあることがわかった。

これらの結果により、国際看護学部が社会的、地域的な人材需要を踏まえたものであると期待されていることがわかる。

以上

学生の確保の見通し等を記載した書類【資料】

目 次

- 【資料 1】 葵会柏看護専門学校看護学科入学志願状況
- 【資料 2】 中央教育審議会将来構想部会（第 9 期～）（第 13 回）（平成 30 年 2 月 21 日）の「資料 2 大学への進学者数の将来推計について」
- 【資料 3】 葵会柏看護専門学校看護学科都道府県別入学者推移表
- 【資料 4】 「グローバル化した社会に対応する看護専門職の養成」医療創生大学
- 【資料 5】 アンケート対象高校一覧
- 【資料 6】 医療創生大学「国際看護学部（仮称）」設置に関するニーズ調査【高校生対象調査】結果報告書
- 【資料 7】 リクルート進学総研「レポート・調査 進学に関するマーケットデータ」（千葉県、茨城県、埼玉県の 18 歳人口・進学率・残留率の推移 2019 年）
- 【資料 8】 「国際看護学部」入学者確保の中長期的な見込み
- 【資料 9】 私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団）の「主な学部別の志願者・入学者動向」
- 【資料 10】 「看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査」（2015 年度～2019 年度）総務省統計局
- 【資料 11】 心理学部入学志願状況
- 【資料 12】 令和 2（2020）年度医療創生大学心理学部入学試験結果
- 【資料 13】 社会保障制度改革国民会議報告書～確かな社会保障を将来世代に伝えるための道筋～（平成 25 年 8 月 6 日）
- 【資料 14】 第 2 回看護職員需給見通しに関する検討会（平成 27 年 12 月 18 日）
- 【資料 15】 医療従事者の需給に関する検討会 看護職員需給分科会 中間とりまとめ（令和元年 11 月 15 日）
- 【資料 16】 千葉県保健医療計画 平成 30 年 4 月
- 【資料 17】 アンケート対象機関一覧
- 【資料 18】 医療創生大学「国際看護学部（仮称）」設置に関するニーズ調査【病院・団体対象調査】結果報告書